

2019年5月10日

地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」に選ばれました

京都信用金庫は、2018年度「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として2事例が内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰されましたのでお知らせいたします。

地方創生に向けた金融機関等の取組のうち、地方公共団体等と連携して行った事例や先駆性のあつた事例を、内閣府まち・ひと・しごと創生本部が33事例を公表し表彰しています。

当金庫は今後もこのような取組を通じて、お客様と共通価値の創造とゆたかなコミュニティの創造を目指してまいります。

記

1. 表彰対象事例

(1) 「ゆたかなコミュニティの創造に向けた、情報のマッチングの取組」

〈内容〉

社内ネットワーク内に「ビジネスマッチング掲示板」システムを独自開発し、営業店・本部の職員同士によるビジネスマッチング情報等を共有するシステムを構築。

お客様の「モノ・技術・サービス・情報」をつなぎ、お客様の売りたい、買いたい、組みたい、知りたいといった課題の解決を行っている。また、お客様との対話の時間を増やして事業内容について理解を深め、経営課題をお聞きしてマッチング掲示板に登録。全役職員がその掲示板を閲覧して解決策を返信し、スピーディーに顧客へ提案することによって、人と人、企業と企業を引き合わせ、顧客の課題解決に取り組んでいる。

(2) 「ものづくりベンチャー企業の量産化試作をサポートする『Makers Boot Camp』に対する支援を通じた、京都における『ものづくり企業』の活性化への取組

〈内容〉

当金庫を含めた7つの金融機関は、株式会社 Darma Tech Labs が管理運営する「**MBS Shisaku 1号投資事業有限責任組合**」への出資、同ファンドへの投資候補先の紹介、ベンチャー企業と大企業とのビジネスマッチング等により、ものづくりベンチャー企業の量産化試作をサポートする「Makers Boot Camp」を支援。京都を IOT 関連を中心としたものづくり企業の拠点とすることで地域の中小企業の活性化を図っている。

※7つの金融機関－京都銀行、ゆうちょ銀行、三井住友銀行、日本政策投資銀行、京都信用金庫、

浜松いわた信用金庫、京都中央信用金庫

以上